――医薬品の適正使用に欠かせない情報です。必ずお読みください。――

「使用上の注意」の改訂に関するお知らせ

2020年6月

選択的セロトニン再取り込み阻害剤

セルトラリン錠25mg「JG」
セルトラリン錠50mg「JG」
セルトラリン錠100mg「JG」

製造販売元
日本ジェネリック株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

このたび、上記の弊社製品につきまして、添付文書の「使用上の注意」の一部を改訂いたしましたので、お知らせ申し上げます。ご使用に際しましては、改訂後の各項を十分ご参照くださいますようお願い申し上げます。

また、今後とも弊社製品のご使用に当たって、副作用等の治療上好ましくない事象をご経験の際には、弊社MRまでできるだけ速やかにご連絡くださいますようお願い申し上げます。

1. 改訂内容（抜粋）

（改訂箇所：＿＿＿＿部）

<table>
<tr><th>改　訂　後</th><th>改　訂　前</th></tr>
<tr><td>
【使用上の注意】
3.相互作用
本剤は肝代謝酵素 CYP2C19、CYP2C9、CYP2B6及びCYP3A4等で代謝される。
(1)併用禁忌（併用しないこと）
<table>
<tr><th>薬剤名等</th><th>臨床症状・措置方法</th><th>機序・危険因子</th></tr>
<tr><td>MAO阻害剤
セレギリン塩酸塩（エフピー）
ラサギリンメシル酸塩（アジレクト）
サフィナミドメシル酸塩（エクフィナ）</td><td>発汗、不穏、全身痙攣、異常高熱、昏睡等の症状があらわれることがある。なお、MAO阻害剤の投与を受けた患者に本剤を投与する場合、また本剤投与後にMAO阻害剤を投与する場合には、14日間以上の間隔をおくこと。</td><td>セロトニンの分解が阻害され、脳内セロトニン濃度が高まると考えられる。</td></tr>
<tr><td colspan="3">〈変更なし〉</td></tr>
</table>
</td><td>
【使用上の注意】
3.相互作用
本剤は肝代謝酵素 CYP2C19、CYP2C9、CYP2B6及びCYP3A4等で代謝される。
(1)併用禁忌（併用しないこと）
<table>
<tr><th>薬剤名等</th><th>臨床症状・措置方法</th><th>機序・危険因子</th></tr>
<tr><td>MAO阻害剤
セレギリン塩酸塩（エフピー）
ラサギリンメシル酸塩（アジレクト）</td><td>発汗、不穏、全身痙攣、異常高熱、昏睡等の症状があらわれることがある。なお、MAO阻害剤の投与を受けた患者に本剤を投与する場合、また本剤投与後にMAO阻害剤を投与する場合には、14日間以上の間隔をおくこと。</td><td>セロトニンの分解が阻害され、脳内セロトニン濃度が高まると考えられる。</td></tr>
<tr><td colspan="3">〈省略〉</td></tr>
</table>
</td></tr>
</table>

(2020年6月改訂)

2. 改訂理由

・相互作用相手薬記載との整合のため、「**併用禁忌**」の項、「**MAO阻害剤**」の欄に「**サフィナミドメシル酸塩**」を追記いたしました。

3. ＤＳＵ掲載

使用上の注意改訂情報は、2020年6月発行予定の「医薬品安全対策情報（DSU）No.289」に掲載されます。

今回の使用上の注意改訂等を反映した添付文書情報につきましては、以下のホームページよりご確認ください。
・医薬品医療機器総合機構ホームページ(https://www.pmda.go.jp/)
・日本ジェネリック株式会社 医療関係者さま向けページ（http://www.nihon-generic.co.jp/medical/）

お問合せ先：日本ジェネリック株式会社
安全管理部　TEL：03-6810-0502